



千住 真理子デビュー 50周年 & 千住 明デビュー 40周年

AKIRA SENJU
40th
ANNIVERSARY

千住 真理子 ヴァイオリン・リサイタル

スペシャル・ゲスト: 千住 明



ピアノ: 山岡 智

演奏予定曲

J.S.バッハ: G線上のアリア

バッハ: ベル・カノン

成田為三 / 千住明編: 浜辺の歌

千住明: andante ~母・千住文子に捧ぐ~

千住明: 映画「こんにちは、母さん」よりテーマ

ほか

2025

6/21 (土) 開場 13:30
開演 14:00

会場

アイザック小杉文化ホール ラポール

全席指定

一般 5,000円 (会員 4,500円 当日 5,500円)

25歳以下 1,000円 (会員 900円)

※未就学児の入場はご遠慮ください。※車イス席はラポールのみの取り扱いです。
※当日25歳以下は本人確認書類を提示ください。

プレイガイド

アイザック小杉文化ホール、高周波文化ホール (新湊中央文化会館)
アーツナビ (富山県民会館、富山県教育文化会館、新川文化ホール、高岡文化ホール)
チケットぴあ (Pコード293-741)、ローソンチケット (Lコード56442)

主催: (公財) 射水市文化振興財団、射水市
後援: 射水市教育委員会、北日本新聞社、チューリップテレビ
FMとやま、射水ケーブルネットワーク (株)

チケット発売日

会員先行発売 4/6 (日) 10:00~
一般発売 4/13 (日) 10:00~

《枚数制限・会員割引 お一人様4枚まで》

※会員先行販売期間はラポールのみの取り扱いです。
※発売初日 (4/6、4/13) に限り、ラポールの電話受付は13:00~

© 笹口 悦民

お問い合わせ: アイザック小杉文化ホール ラポール 0766-56-1515 (9:00~17:00) ※毎週火曜日 (祝日の場合は翌平日) を除く

千住 真理子デビュー 50周年 & 千住 明デビュー 40周年

千住 真理子ヴァイオリン・リサイタル

デビューから50年のヴァイオリニスト人生。山あり谷ありの険しい道のりを、疾走したり歩いたり、時に道に迷い遭難すればひとに助けられ、涙流せば友達がそばにいてくれた。苦楽を共にした父母も恩師も、今はもういないけど、相棒ストラディヴァリウス“デュランティ”がいてくれる。

いま奏でる音は、この50年のわたしの全て。

この音色をあなたの心に届けたい。

精一杯の「ありがとう」をこめて—

千住 真理子

2025年は妹・真理子が50周年を迎え、僕もプロとして活動40年を迎えます。この10年の差は幼くしてデビューした真理子の苦闘を共にし、そしてその中から僕自身の進むべき道も確立できた10年でした。

それからそれぞれの活動と共に兄妹で育ててきた、かけがえのないもう一つの家族の音楽が僕達の根底にあります。そんな側面を今日はお楽しみ下さい。

千住 明

Akira Senju

© 笹口 悦民

千住 明 Akira Senju 作曲家

1960年東京生れ。東京藝術大学作曲科卒業。同大学院首席修了。修了作品「EDEN」(1989)は史上8人目の東京藝術大学賞上、同大学美術館に永久保存。

代表作にピアノ協奏曲「宿命」、「四季」、オペラ「万葉集」「滝の白糸」等。ドラマ「ほんまもん」「砂の器」「風林火山」「VIVANT」、映画「愛を乞う人」「黄泉がえり」「追憶」「ごんには、母さん」、アニメ「機動戦士Vガンダム」「鋼の錬金術師FA」、NHK「日本 映像の20世紀」「ルーブル美術館」NHKスペシャル「世紀を越えて」「平成史」「新・ドキュメント太平洋戦争」、中国ミュージカル「白夜行」、ゲーム「TRIANGLE STRATEGY」等、音楽担当作品は数多い。日本アカデミー賞優秀音楽賞4回受賞等受賞歴多数。

2019年には、天皇陛下御即位三十年記念式典にて天皇皇后両陛下による著作歌曲「歌声の響」の編曲とピアノを担当。三浦大知、千住真理子と共に記念演奏を披露。

東京藝術大学を中心とした音楽と美術の制作グループ「Senju Lab」主宰。東京藝術大学客員教授。

2025年に活動40周年を迎える。

千住 真理子 Mariko Senju ヴァイオリン

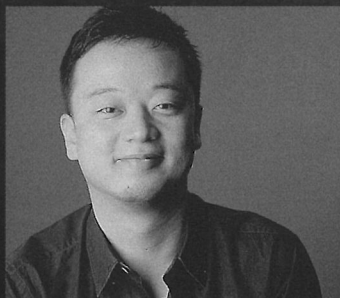
2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。バグニーニ国際コンクールに最年少で入賞。2002年秋、ストラディヴァリウス“デュランティ”との運命的な出会いを果たし、話題となる。

これまでに多くのCDをリリース。最近では2023年11月に千住明のプロデュースによるアルバム「ARIAS」をリリース。また山田洋次監督作品「ごんには、母さん」のサウンドトラックに参加。2024年は9月にデビュー当時の音源も収録した「ベスト&レア」アルバムをリリース。2025年はデビュー50周年を迎え、全国で演奏会を行う。デビューアルバムと同じ、CD「メンデルスゾーン&チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲」をリリース。コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。また、チャリティコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。

著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」(時事通信社、文藝春秋社文春文庫)母との共著「母と娘の協奏曲」(時事通信社)など多数。

千住真理子オフィシャル・ホームページ

<https://marikosenju.com/>



山洞 智 Satoshi Sando ピアノ

4歳からピアノを14歳から作曲を学ぶ。1993年東京芸術大学大学院修了。

90年大学より安宅賞受賞。91年第60回日本音楽コンクール作曲部門首位、あわせて安田賞受賞。その後フランス政府給費留学生として渡仏。パリ国立高等音楽院にてさらに研鑽を積む。作曲と演奏の双方にわたり活動を展開、また両者をつなぐ新曲の初演も多数。ピアニストとしては独奏以外でも、とくに室内楽分野で内外のトップアーティストの共演者として絶大な信頼を寄せられている。

97年8月に帰国。98年8月には国際交流基金派遣で南米ブラジル、アルゼンチンの各地まで演奏旅行にでかける。

現在、東京音楽大学准教授、東京芸術大学非常勤講師。